

平成28年度 夢風船 事業実績報告書

1 総括

平成28年度は利用者17名でスタートした。開設後3年度目となり、活動も軌道に乗り、安定した事業運営が行われた。室内作業、屋外作業、運動プログラムなど個々の利用者ニーズに合わせた活動の実施に取り組んできたが、各プログラムのメニューが徐々に増え、利用者個々の活動内容が安定且つ充実しつつある。

身体介護など日常生活動作の基本的な事項に対する支援が重要な位置を占める利用者と、コミュニケーションや自発的行動への支援が重要となる利用者の2つのグループに編成することを重要なテーマとして取り組んだが、17名では活動の規模や職員配置等で完全な2分割が困難であり、一部活動の分割にとどめた。

平成29年度は車椅子利用の利用者数が大幅に増えることになったが、地域の肢体不自由の特別支援学校からの実習受け入れによって、その際の活動内容や活動室の設備配置など具体的に検証することが出来た。

特別支援学校の在校生の進路先や相談機関を通しての利用先として役割を果たしていくために今後も引き続き利用者の受入れを行っていくが、それに伴って、定員の拡大、活動室の環境整備、ニーズの多様化に合わせたプログラムや支援体制の検討、入浴等のスケジュールの検討、送迎の効率的な実施など、まだまだ今後整備、改変する事項が山積している。平成28年度は段階的に行うこれらの課題への対応を見据えながら事業を実施し、将来の事業内容が少しずつ具体的にイメージできるようになった年であった。

2 事業概要

- 1) 事業所名 : 夢風船
- 2) 事業種別 : 生活介護
- 3) 所在地 : 東京都小平市小川町2-1931-1
- 4) 経営主体 : 社会福祉法人未来
- 5) 定員 : 20名
- 6) 現員 : 19名 (平成29年3月31日現在)
- 7) 法人認可年月日 : 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 : 平成26年11月1日
- 9) 職員 (平成29年3月31日現在)
 - 管理者 1名
 - サービス管理責任者 1名 (管理者兼務: 常勤換算1.0)
 - 生活支援員 11名 (常勤換算10.8)
 - 看護師 2名 (常勤換算1.3)
 - 嘱託医 1名

3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現の支援。
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
- 3) 安心と希望の持てる生活。

4 基本方針

- 1) 日中活動の保障
- 2) 豊かな生活の支援
- 3) 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- 4) 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- 5) 利用者への相談支援
- 6) 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

- 1) 就労支援事業
 - ① 資源回収作業
 - ② 弁当箱回収作業
 - ③ マンション清掃受託作業
 - ④ シュレッダー作業
 - ⑤ PC入力作業
 - ⑥ その他受注作業
- 2) 生活支援事業
 - ① 入浴（毎日）
 - ② 運動プログラム（水泳・ウォーキング）
 - ③ バイタルチェック（朝・入浴前）
- 3) 行事等
 - 4月 新社会人を祝う会
 - 5月 運動会
 - 6月 外食・紫陽花の花見
 - 7月 江戸東京たてもの園見学
 - 8月 川遊び
 - 9月 ぶどう狩り
 - 10月 レクリエーション
 - 11月 旅行
 - 12月 忘年会
 - 1月 新年会・成人式
 - 2月 防災訓練
 - 3月 永年勤続表彰

6 日 課

開所・送迎	8：30～9：30
朝会	9：30～9：40
健康チェック	
活動の確認	
活動	9：40～12：00
作業（資源回収作業／弁当箱回収作業／清掃作業／PC作業）	
作業（室内軽作業）	
運動プログラム・・・水泳、ウォーキング	
昼食・休憩	12：00～13：00

活動	13:00～14:50
作業（資源回収作業／弁当箱回収作業／清掃作業／PC作業）	
作業（室内軽作業）	
運動プログラム・・・水泳、ウォーキング	
健康チェック	14:50～15:00
入浴	15:00～15:50
終礼	15:50～16:00
送迎・清掃	16:00～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

7 重点課題・目標に対する成果と課題

1) 活動プログラム及びグループの再編成

利用者一人ひとりの支援ニーズを整理し、個別のニーズに沿った支援を行えるよう活動プログラムについて随時検討を行うとともに、共通項に沿い活動を以下の2つのグループに編成する。

- ・入浴、食事、排泄等の基本的日常生活動作の保障における身体介護を重要な支援に位置づけながら、本人が意欲的に社会参加活動を行えるよう支援するグループ。
- ・基本的な日常生活動作の支援を保障したうえ、自発的行動やコミュニケーションに対する支援を重要な活動するグループ。

【成果と課題】

利用者の人数は増えたが、共通するニーズでグループ化し、プログラムを行なうことで個別ニーズに応じた活動は継続して実施できた。グループ別の活動に関しては、平成27年度から実施している昼食時のほかに、朝のバイタルチェックを別々に行なうほか、ロッカーの配置を分けるなど、段階的に実施した。しかし、17名という利用者の活動をグループに分割すると作業や活動が効率的に実施できないほか、身体介護の必要な利用者数が少ないことで職員配置のバランスがとれず、グループ別活動の完全実施は平成29年度以降の実施とした。

2) 職員のスキルアップ

利用者一人ひとりの支援充実のため特に以下の2点を重点目標とする。

- ・本人や家族からの相談支援の能力の向上。
- ・直接支援能力の向上（安全確保及び危機管理、活動参加の支援、コミュニケーション等）

【成果と課題】

直接支援能力の向上、特に安全確保のためのリスク管理や権利擁護を中心に取り組んだ。利用者の増加に伴う新規採用者が多く、見守り、声掛けなど基本的な事項からの指導となった。日常の業務の中で具体的に伝えていくことで全般的な直接支援能力は徐々に向上が見えたが、まだ課題は多く、リスク管理が不十分な場面が多く見られた。また、職員間で支援能力やコーディネート能力の差は大きく、職員の全体の底上げが引き続き課題となった。相談支援については、一部中核職員を中心に指導を行い、事業所内での相談事項の対応や定期的な行政手続き等の対応能力には向上が見られている。生活全般にわたる相談に対しては、傾聴姿勢は出来ているが、課題の整理と解決方法の提案、実施が行なえるまでにはいたっていない。引き続き集中指導を行い、相談対応が出来る職員の育成を行っていく。

8 開所状況

- 1) 開所期間 自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間
(2) 開所時間 午前9時～午後4時
(3) 年間延開所日数 241日間
(4) 平均活動時間 7時間

9 利用状況

- 1) 利用者延人員 3,827人
2) 1日平均利用人員 15.9人
3) 体験実習者延人員 51人
4) 1日平均実習人員 0.2人
5) 実習者実人員 17人

10 利用者状況(平成29年3月31日現在)

1) 年齢

- 20歳未満 3名
20歳以上30歳未満 6名
30歳以上40歳未満 5名
40歳以上50歳未満 4名
50歳以上60歳未満 1名

2) 障害の状況

- 愛の手帳2度 16名 (内身障手帳所持 2名)
愛の手帳3度 1名 (内身障手帳所持 1名)
愛の手帳4度 1名
身体障害者手帳1級 2名 (内愛の手帳所持 1名)
身体障害者手帳2級 1名 (内愛の手帳所持 1名)
身体障害者手帳5級 1名 (内愛の手帳所持 1名)

障害支援区分

平均障害支援区分 5.2

3) 通所手段

- 送迎車利用 18名 (内交通機関併用1名)
交通機関利用 1名 (内送迎者利用併用1名)
家族送迎 1名

4) 居住状況

管内居住 14名 管外居住 5名

5) 性別

男性 14名 女性 5名

11 利用者工賃

平均工賃 1人 月額 : 3,746円 日給 : 208円

1 2 余暇支援実習状況

- 1) 参加者 実18名 延べ214名
- 2) 延実施回数：113回

月別実施状況

4月	： 11回	・ 19名 (延べ)
5月	： 9回	・ 17名
6月	： 12回	・ 17名
7月	： 8回	・ 16名
8月	： 10回	・ 20名
9月	： 9回	・ 20名
10月	： 6回	・ 15名
11月	： 10回	・ 19名
12月	： 9回	・ 16名
1月	： 11回	・ 19名
2月	： 8回	・ 16名
3月	： 10回	・ 20名

内容別実施及び参加状況

カラオケ	15回	36名 (延べ)
入浴	12回	26名
散歩	12回	21名
ドライブ	29回	44名
電車	4回	4名
ボーリング	8回	14名
調理	10回	16名
外食	6回	6名
ゲームセンター	1回	1名
散髪	5回	15名
スイカ割り	1回	5名
プール	7回	14名
喫茶店	2回	7名
ぶどう狩り	1回	5名

1 3 防災

災害時避難訓練を年2回、防災訓練を年1回実施した。